

令和7年度 総合的な学習の時間全体計画 江戸川区立小松川中学校

校長名 折橋 信二

名称:総合的な学習の時間

学校の教育目標	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで学び、深く考え行動する生徒(知) ・心豊かで、地域社会に貢献する生徒(徳) ・心身共に自ら鍛える、たくましい生徒(体)
----------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

国が示す総合的な学習の時間の目標	
<p>探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 探究的な学習の課程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解するようにする。</p> <p>(2) 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。</p> <p>(3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。</p>	

学校の総合的な学習の時間の目標	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 実生活や実社会で活かせる知識や技能を身に付け、よりよく生きるために積極的に社会参画しようとする態度を育てる。 2. 自ら課題を見つけ、自ら考え、問題の解決や探究活動に主体的に取り組む過程を大切に、情報収集・整理・分析・表現の過程を通して、課題発見・解決する能力を高める。 3. 主体的・協働的に課題解決に取り組む活動を通して、探究学習の意義を理解し、自己の生き方を考える。 	

育てようとする資質や能力及び態度			
		知識及び技能	
第1学年	第2学年	第3学年	
多様な課題に触れ、実生活・実社会で活かせる知識・技能を身に付ける。	日常的な課題を解決するための知識や技能を身に付ける。	今日的な課題を解決するために必要な知識や技能を身に付ける。	
思考力、判断力、表現力等			
第1学年	第2学年	第3学年	
多様な課題の情報を収集し、取捨選択しながら文章にまとめる力を育成する。	日常的な課題を解決するための情報を収集し、資料にまとめ発表する力を育成する。	今日的な課題を解決するため、他教科の学習等を生かしながら、自身の考えをもち、資料にまとめ発表する力を育成する。	
主体的に学習に取り組む態度			
第1学年	第2学年	第3学年	
自身の生活を見直し、よりよく生きる意欲をもち、実践する態度を育てる。	自身の生活と社会とのつながりを理解し、社会参画の意欲をもち、社会貢献する態度を育てる。	自己を見つめ、将来を考え、自己実現と社会貢献の意欲をもち、社会貢献する態度と実践力を育てる。	

内容	学習対象	学習事項		
第1学年	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な職業調べ ・江戸川区と東京の歴史・文化 ・福祉社会 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な職業とその内容 ・地域の違いとそこで生きるための知識、技能 		
第2学年	<ul style="list-style-type: none"> ・職場体験(チャレンジ・ザ・ドリーム) ・林間学校及び校外学習を通じての地域特徴の理解 	<ul style="list-style-type: none"> ・体験や講話を通して職業についての理解と自分の生き方の探求 ・地域の違いとそこで生きるための知識、技能 		
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> ・古都(奈良・京都)の歴史や文化 ・自己を見つめ、自分の生き方を考え進路選択を促す 	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統文化のもつ特徴とその歴史的背景 ・これからの自分の生き方を見出し、自分の意見・考えを発表する力。 		
学習活動		指導方法	指導体制	学習の評価
各種体験学習を通して、自身の将来や現代社会の中に課題を見出し、自己の考えをまとめ発表・表現する。		<ul style="list-style-type: none"> ・協働的な学習活動の充実 ・個に応じた指導の工夫 ・話し合い活動やグループでの創作活動を積極的に取り入れる。 ・読書科と連動させ課題解決策を検討させる。 	教師間の連携を図りながら指導をする。また、外部機関との連携も図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・個人内評価の充実 ・ポートフォリオを活用した評価の充実